

コラム

羽生選手直筆サイン入り写真パネルが原発被災地の小学校に贈られる
東北大学名誉教授 野池達也



全校でわずか18名の生徒しかいない福島県伊達市小国小学校に、平昌冬季五輪フィギュアスケートで二連覇の偉業を達成された羽生結弦選手は、仙台での凱旋パレードの夜、祖父様から同校の話をお聞きし、直ちに、「僕も是非お役に立たせていただきたい」と言われて、演技の写真パネルに、「小国小学校の皆様、元気でがんばって下さい！羽生結弦」のメッセージを書き込んで、祖父様を通じて同校に贈られました。思いがけず素晴らしい贈物をお受けした根本幸枝学校長はじめ18名の生徒達、教職員の方々の喜びと感動はどんなに大きかったことか知れません。以来、このパネルは、校長室と廊下に飾られ、生徒たちは毎日、羽生選手の励ましの姿と言葉に接し、小学校全体が生き生きと明るくなりました。校長先生は運動会でもパネルを紹介し、「今日の運動会は、羽生選手も応援しています。皆さんもがんばりましょう。」と挨拶されました。本部席に飾られたパネルを沢山の父兄や地域の皆様が写真に収められ、羽生選手が、小国小学校を応援してくれまことを大変喜んでおられたとのことです。羽生選手は、大会での受賞インタビューではいつも、東日本大震災で被災された人々への心熱い思いを述べて下さいますが、羽生選手自身が仙台で震災に遭われ、その苦しみを身をもって体験されたからだと、祖父様は申されておられます。今年3月に、6年生4名が晴れて卒業式を迎えました。卒業生を代表して、「羽生選手に励ましていただいたことは、小学校生活の中で生涯忘れられない思い出の一つになりました」とのお便りをいただきました。



●環境会議所東北誕生そして卒業

山岡 講子

環境会議所東北が誕生して早23年の歳月が流れました。思い起こせば平成9年開校したばかりの宮城大学のフロアを会場に事業構想学部教授の天明茂氏を座長に私は世話人として異業種交流サロンを開催。友人知人をカタパシから誘い半強制的に参加を募った交流サロンは、天明座長やゲストの講話が評判を呼び定例会となりました。特に環境問題に関心が高く「環境は継続することが大切だ」という共通認識のもと有志で立ち上げ事務局を引き受けました。平成10年NPO法の施行をきっかけに天明先生を代表に平成10年12月設立総会を開催、平成11年5月13日に宮城県からNPO法人環境会議所東北として7番目に認証を受けました。意気揚々と船出したものの資金はゼロ、すべてが持ち出しで始まった活動は、当時中学生になった次男の日々の様子が記憶にないほどの忙しさで、ただただ夢に向かって無我夢中でした。天明代表から2代目代表は東北大学教授の三浦隆利氏、3代目に同じく東北大学教授の猪股宏氏が就任され今年で14年目となります。設立当初からの10年間は「紆余曲折」「波乱万丈」継続不可能と思われるほどの赤字と借入金がありました。平成21年に体制替えにより専務理事を任命された時はこれまで以上に険しい道のりに逃げ出したいとほやくつぶやきました。しかし無報酬で支えてくださっている代表と理事の皆様、会員企業の皆様、関係者の皆様には迷惑をかけられない！持続可能な循環型社会構築を目指した初志の目的が持続不可能では皆様を裏切ることになると思いなおしました。幸い当時のスタッフに恵まれ丸となりマイナスを打破すべく「みちのくEMS」を中心に「みやぎGPN」環境普及活動の「エコプロダクツ東北」を展開していた矢先の2011年東北大震災は大打撃でした。ここで終わらせるわけにはいかないのでこの状況下で出来ることを誠実にこなすことに専念しました。2013年には「エコプロダクツ東北2013」を開催でき、翌年は「さかなクンと学ぼう2014」等のイベント開催ができ「環境甲子園」は今年で20回目になります。数々の試練を乗り越え2016年8月にはすべての借入金を完済し赤字解消となりました。強そうに見えてもそこは弱き私、荷が勝ちすぎて精神的にしばしば折れることもありましたが仙台福音自由教会の日曜礼拝に集うことが出来『あなた方が経験した試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなた方を耐えられない試練に合わせることはなさいません。むしろ耐えられるように試練と共に脱出の道も備えていてくださいます』コリント第一10章13節の御言葉により希望が持て折れずに前向きに歩むことが出来ました。様々な経験は顔のしわと共に深く刻み込まれた今は何が起きてても大丈夫です。仕事を続け得た様々な経験は私の人生での宝物となりました。2015年に国連アジェンダ持続可能な開発目標SDGsが発表され、17の項目の一つ一つがこれからの時代はこの目標に向かうべきと確信しました。主催者が持続不可能な組織では話になりませんが持続可能な体制になったので、2017年に「SDGs持続可能な社会に向けた地域からのアクション」と題しシンポジウムを開催しました。立ち上げから23年、皆様のお力添えのもとただひたすらに走ってきた私も古希を迎え負債を残さず3月31日に初志貫徹し卒業することが出来ました。ここに至るまでにご支援してくださった会員企業の皆様、また関連の自治体の皆様、そしてこれまで関わってくださった方々、本当にありがとうございます。何って皆様にご挨拶すべきところですが、このたびの新型コロナウイルス感染拡大防止のため会報紙面にて失礼のほどをお許しいただき、心から感謝の意こめてお礼のあいさつに代えさせていただきます。今後ともNPO法人環境会議所東北をよろしく願い申し上げます。

発行・編集 NPO法人 環境会議所東北

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-0761 FAX.022-375-7797

Email : kk-tohoku@kk-tohoku.or.jp ホームページ : <http://www.kk-tohoku.or.jp> (環境会議所東北)

※Facebookもございますので、ご覧下さい。



2020.06 No.35

時代の節目から、生活様式の変革へ

代表理事 猪股 宏(東北大学大学院工学研究科・教授)



この原稿を書いているのは、2020年5月下旬です。総会は、14日に終了しました。会員の皆様のご協力のもと、総会での議案はすべてご承認頂きました。ここでご報告ならびに御礼を申し上げます。令和2年度活動計画については、最近の数年と同様「みちのくEMS」を中心として実施します。この「みちのくEMS」の規格3版への移行は昨年より完全実施となっておりますが、徐々に各事業所様の業務に即した環境目標を掲げ、その円滑かつ効率的な遂行ができるよう、本認証がそのための潤滑油になれるように趣旨の浸透を図りたいと考えております。

さて、上述のような活動ですが、この5月現在、新型コロナウイルス感染拡大抑止のための行動制限のため、例年のような動きができない状況です。会員の皆様にも、同様な状況かと推察申し上げます。本当に、いつに通常に戻るのか・・・と考える方も多いかと思いますが、完全にもどることは「ない」であろうと考えます。むしろ、業種によっても異なるでしょう。しかし、以前の状態への復帰は難しいというよりは、周囲環境が変化したので、復帰の方向へは向かうものの、軌道が修正・変化していくことでしょうか。このことを意識し、現業を進めていくことが求められますし、むしろ「良い機会である」と考えるべきかもしれません。

環境会議所の理事会等も、4月からリモート会議を併用しております。従来のTV会議ということですが、ネットワークを用いた種々のソフトウェアがあり、その機能もかなり充実しております。これまでは、「ネットワークよりは対面・・・」と思い、積極的に導入しようと考えませんでした。接触確率を下げる有効な手段として利用しようとしてみると、想定よりも議論もできますし、移動時間が省略できることから場合によっては時間効率が高いかもしれません。また、集まるメンバーが遠隔地からとすれば、その移動時間を考えると日程調整の困難さも緩和されるように感じました。小職は大学の講義でも、オンライン授業を行っていますが、学生に聞くと「集中できる」という感想もあり、質問数も増える場合も散見されています。もちろん、そのためにはオンライン・リモート接続のための設備の準備ならびに方法論の理解・習熟が必要となりますので、簡単ではありませんが、新たな方法論を獲得したとすれば「プラス効果」でありましょう。今後、時間スケールが不明ですが、感染状況は収束に向かうでしょうが、新しい手段を併用することで夫々のビジネスにおいて以前とは異なる対応も可能となるものと推察致します。業務継続計画（BCP）やリスクマネジメントの内容を見直し、そこに今回の経験を加味して、より柔軟かつ効果的な計画として反映させて頂きたいと考えております。環境会議所としても、種々試行している手段を評価した上で、会員の皆様への支援業務に可能な範囲で新規手法として導入し、PDCAが円滑に回るように致したいと思っております。

最近思ったことを勝手に書かせて頂きましたが、関係各位には周囲も含めて、是非とも「負のスパイラル」に巻き込まれないよう、「プラス思考」にてこの非常事態に対処・克服して頂きますこと、祈念申し上げます。

●第23期総会開催

第23期2020年度通常総会を、令和2年5月14日（木）に環境会議所東北会議室にて開催いたしました。猪股宏代表理事の挨拶の後、直ちに議事に入り、第1号議案 令和元年度（2019年度）事業報告ならびに決算報告、第2号議案 令和2年度（2020年度）事業計画案ならびに予算案、第3号議案 定款の改訂、第4号議案 役員改選について、すべて承認されました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、FAXでの書面議決を新たに取り入れ、無事に総会を開催できました。



総会の様子

